

2020（令和2）年度

日本英文学会九州支部 第2回編集委員会議事録

日 時：2020（令和2）年10月24日（土）午後2時より

場 所：Zoom ウェブ会議システム

出席者（敬称略、部門別五十音順）：鶴飼信光（英文学）、後藤美映（英文学）、小林潤司（英文学・編集委員長）、虹林慶（英文学）、宮川美佐子（英文学）、高野泰志（米文学）、高橋勤（米文学・編集副委員長）、竹内勝徳（米文学）、宮本敬子（米文学）、大橋浩（英語学・支部長）、西岡宣明（英語学）、福田稔（英語学・編集副委員長）、松元浩一（英語学）、山田英二（英語学）

欠席者（敬称略、部門別五十音順）：大和高行（英文学）、岡本太助（米文学）

書記（敬称略、五十音順）：大塚知昇（大会準備担当）、田中公介（事務局長）、永次健人（大会準備、プロシーディングス・ウェブ担当）

会に先立って、大橋支部長より、今年度の支部大会がウェブカンファレンスに変更となり、九州支部 HP にリンクされた特設サイトで、本日（10月24日）午前9時より始まっていることが報告された。開催日は今月28日までの5日間である。また委員に対して、ウェブカンファレンスへの参加と、他の支部会員への告知も積極的にやっただくよう依頼された。

<編集委員会規定、編集委員名、前回議事録確認>

小林編集委員長より、編集委員に前回編集委員会議事録の確認要請があり、編集委員により確認のうえ確定された。

議事：

1. 『九州英文学研究』第36号（支部統合号 Vol. XII）の刊行について

小林編集委員長より、『九州英文学研究』第36号について、以下のように報告があった。2020年1月20日刊行済み。投稿論文の内訳は、一般投稿7編（英文学1編、米文学5編、英語学1編）、懇談論文1編（米文学1編）、総計8編。審査の結果、米文学1編（懇談論文）と英語学1編が採用となり、計2編が掲載された。学会賞（「優秀論文賞」、「奨励賞」）の受賞はなし。

2. 『九州英文学研究』第37号（支部統合号 Vol. XIII）について

小林編集委員長より、『九州英文学研究』第37号について、以下のように報告があった。現在校正作業中であり、2021年1月20日頃刊行予定。投稿論文の内訳は、一般論文10編（英文学5編、米文学4編、英語学1編）、懇談論文1編（米文学1編）、総計11編。審査の結果、米文学1編（懇談論文）、英語学1編を採用、英文学2編、米文学1編を再審

査、英文学 3 編、米文学 3 編が不採用となった。再審査の結果、英文学 1 編、米文学 1 編が採用となり、英文学 1 編が不採用となった。最終的に英文学 1 編、米文学 2 編、英語学 1 編の計 4 編の掲載となった。

3. 九州支部学会賞（「優秀論文賞」、「奨励賞」）の審査について

小林編集委員長より、『九州英文学研究』第 37 号の投稿論文に対する学会賞の審査結果について、以下のように報告があった。「優秀論文賞」、「奨励賞」ともに該当者なし。

4. 「招待発表者」ならびに懇話について

大橋支部長より、現在開催中のウェブカンファレンスの招待発表者について、イギリス文学部門（鶴田学氏：福岡大学教授、福原俊平氏：福岡大学准教授）、英語学部門（江口巧氏：九州大学教授）の 3 名が招待発表をされていることが報告された。

今年度の懇話論文ならびに来年度の招待発表・懇話論文の依頼については従来通りの方法で進めることが確認された。

5. 来年度の支部大会について

大橋支部長より、来年度の支部大会は、今年度開催予定だった西南学院大学で 2021 年 10 月中旬に開催予定である報告があった。開催校責任者・詳細については未定である。

6. 次期編集委員長選考について

大橋支部長より、次期編集委員長の選考について確認があり、近年の 2 年毎に各部門間でローテーションを組むという取り決め（アメリカ文学部門→イギリス文学部門→英語学部門）に従い、次期編集委員長は英語学部門内で話し合いの上決定する旨が確認された。

7. その他

特になし。

以上

2020（令和2）年度

日本英文学会九州支部 理事会・評議員会議事録

日 時：2020（令和2）年10月26日（月）～28日（水）

場 所：メール会議

議事：

1. 活動報告

- ・ 『九州英文学研究 第36号』刊行
- ・ 大会 Proceedings の Web 掲載
- ・ 第72回支部大会開催：2019年10月26日・27日、熊本県立大学
- ・ 理事会・評議員会開催：2019年10月26日、熊本県立大学
- ・ 編集委員会開催
2019年度第2回：2019年10月26日、熊本県立大学
2020年度第1回：2020年8月1日、Zoom ウェブ会議システム
2020年度第2回：2020年10月24日、Zoom ウェブ会議システム
- ・ 第73回支部大会開催：2020年10月24日～28日、ウェブカンファレンス

2. 会計報告

2019年度の会計報告がなされ、黒木隆善氏（九州共立大学評議員）による監査が行われた旨が報告された。また、2020年度中間報告と2021年度予算案の報告が行われた。

3. 統合号出版経費負担について

出版経費の負担については以下のように報告された。

- (1) プロシーディングス分担金 0円
- (2) 支部大会資料統合版分担金 0円
- (3) 英文学研究支部統合版第13号 未定（第12号は85,546円（28頁））

4. 編集委員会報告

(1) 『九州英文学研究』第36号（支部統合号 Vol. XII）について

2020年1月20日刊行済み。投稿論文の内訳は、一般投稿7編（英文学1編、米文学5編、英語学1編）、懲憑論文1編（米文学1編）、総計8編。審査の結果、米文学1編（懲憑論文）と英語学1編が採用となり、計2編が掲載された。学会賞（「優秀論文賞」、「奨励賞」）の受賞はなし。

(2) 『九州英文学研究』第37号（支部統合号 Vol. XIII）について

現在校正作業中であり、2021年1月20日頃刊行予定。投稿論文の内訳は、一般論文10編（英文学5編、米文学4編、英語学1編）、懲憑論文1編（米文学1編）、総計11編。審査の結果、米文学1編（懲憑論文）、英語学1編を採用、英文学2編、米文学1編を再審査、英文学3編、米文学3編が不採用となった。再審査の結果、英文学1編、米文学1編が採用となり、英文学1編が不採用となった。最終的に英文学1編、米文学2編、英語学1編の計4編の掲載となった。

(3) 学会賞について

『九州英文学研究』第37号の投稿論文に対する学会賞の審査結果については、「優秀論文賞」、「奨励賞」ともに該当者なし。

5. 評議員校について

2020年度の新規評議員校として、別府大学と宮崎公立大学が加わった。また、長崎県立大学、福岡教育大学、福岡女学院大学で評議員の交代があった。

6. 2021年度全国大会・支部大会の開催大学について

第93回全国大会：早稲田大学（東京都新宿区）（2021年5月22日、23日）

第74回九州支部大会：西南学院大学（2021年10月中旬）

何れも新型コロナウイルスの感染状況により開催形態が変更になる可能性がある
ので、定期的に日本英文学会 HP ならびに九州支部 HP を確認しておくよう申し添
えられた。

7. 理事名、評議員名、編集委員名の確認

以上